

# リスクマネジメント簡易チェックリスト

ステップ1

用紙(2枚)をプリントアウト頂き、まず本チェックリストをチェックの上、次ページ自己診断表に転記して頂くことにより、貴社のリスクマネジメントスタイルがわかります！

**チェック方法**

評価欄チェックを入れ、小計を書き入れてください **表1へ**

A(1~20)の合計とB(21~40)の合計を計算します

A(1~20)の合計(                    ) B(21~40)の合計(                    ) **表2へ**

(とてもあてはまる5~全くあてはまらない 1)

	項目	評価					小計	
		5	4	3	2	1		
A	1	どの会社にも多様なリスクが潜んでいる事を認識している						
	2	リスク対応は会社の責任と同時に経営者の責任であると認識している						
	3	リスク対応することはステークホルダーを大事にすることだと認識している						
	4	リスク発生によって企業存続をも危うくすると認識している						
	5	リスク対応ができていない企業は信頼されないと認識している						
	6	企業を取り巻く外部環境にどのような変化が起きているかを把握できている						
	7	変化している外部環境の中で自社に大きく影響を与えるものを把握できている						
	8	外部環境の変化に伴う各部門での具体的な影響を把握できている						
	9	市場や顧客の生の声を聞き、どんな変化が起きているかを把握している						
	10	業界や競合が環境変化に対しどのような動きをしているかを把握できている						
	11	ステークホルダーに対する理念や方針が明確にされている						
	12	法令遵守に関わる理念や方針が明確にされている						
	13	従業員の行動指針に関する内容が明確にされている						
	14	理念や行動指針を従業員に徹底させる教育がされている						
	15	経営理念が社内だけでなく、外部の人でもいつでも見れるようになっている						
	16	リスクに対応した組織が明確に位置付けられている						
	17	自社を取り巻くリスクに対して担当者が任命され役割が明確になっている						
	18	リスクに対する取組みの可視化推進・報告体制が確立している						
	19	リスクへの取組みの見直しがされ新しく修正されている						
	20	組織を通して従業員に最新情報の伝達など啓蒙活動が行われている						
B	21	どんなリスクがあるかリストアップされている						
	22	リスクの具体的内容とリスクを引き起す原因が明確にされている						
	23	リスク項目についてどれくらいの頻度で発生するか確率が把握されている						
	24	リスク発生による損失内容と金額で把握されている						
	25	発生確率と損失量とからリスクの優先順位が付けられている						
	26	リスクの内容により回避、軽減、移転、保有の方向付けがされている						
	27	軽減対策の内容が具体的にされ、期待効果や必要な費用が算出されている						
	28	保険をかけるべきかの検討がされ、必要なものには入っている						
	29	代替設備や拠点分散について検討がされ実施されている						
	30	実施計画を作り、毎年予算をとり対策を実施している						
	31	経営者がリスクマネジメントの重要性を強調している						
	32	リスクに対する認識を高めるための教育を行っている						
	33	従業員からリスクに関する提案が積極的に行われている						
	34	リスク発生を想定した訓練を定期的に行っている						
	35	地域の行政機関や企業間で連携がとれるようになっている						
	36	救出期、復旧期、原因究明・再発防止期にやるべきシナリオができています						
	37	緊急時に経営トップが指揮をとる組織設置と役割が決められている						
	38	外部に対する説明責任の仕方が決められている						
	39	従業員に取るべき行動が説明され共通認識ができています						
	40	目標復旧時間は取引先と内容の協議がされ合意されている						

# リスクマネジメント自己診断表

ステップ2

表1

チェックリストの設問番号は、下記のような項目を意味しています。例えば1～5は「基本的な心構え」です。各項目の小計を下記のグラフに書き込むことにより、貴社のリスクマネジメントに対する弱い部分や偏りが認識できます。

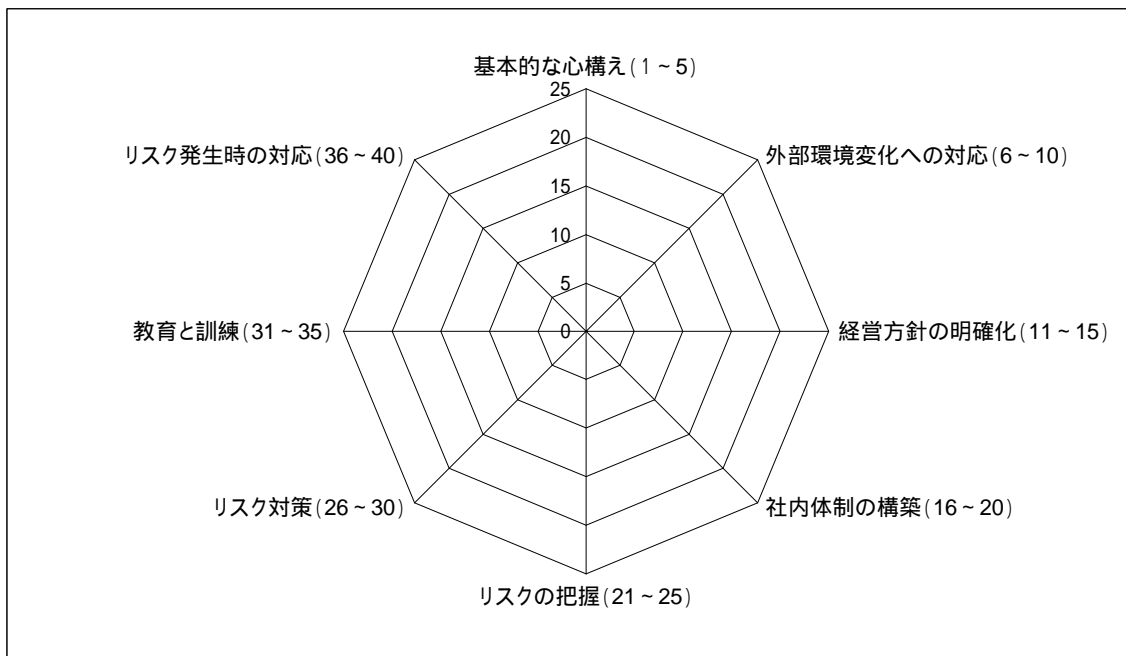
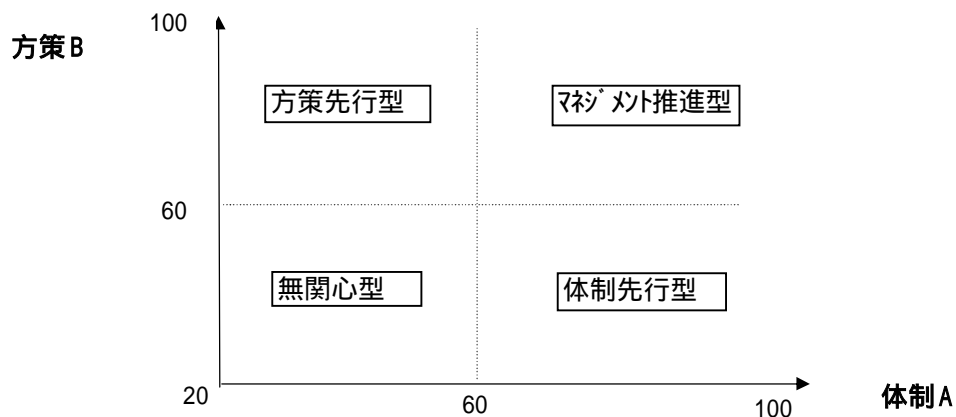


表2

Aの合計数値を横軸、Bの合計数値を縦軸にとることにより、貴社のマネジメントの現状がわかります。



お疲れ様でした。もしも、今後貴社のリスクマネジメントを推進する方向・方法等、ご相談があれば下記ご記入の上、ステップ1及び2の用紙をFAXして下さい。専門のコンサルティングが再度分析の上、貴社にお伺いしてご相談に応じさせていただきます。

貴社名	Tel		Fax
ご住所	〒		
ご担当者	部署名:		E-mail
通信欄			

連絡先: 株式会社キャリアネットワーク行き FAX番号03-5472-4828 (TEL番号03-5472-7488)

©キャリアネットワーク